



2024.8.22

発行：嶺南教育事務所
TEL：0770-56-1309（代表）
FAX：0770-56-1391
MAIL：reo-k@chive.ocn.ne.jp

7/29 探究的な学び研修講座の概要を紹介します！ 探究的な学びのデザイン ～子供の学びに伴走する探究仲間として～ 立命館宇治中学校・高等学校 酒井 淳平 先生

「探究」というと敷居が高いと感じる先生も少なくないのではないのでしょうか。酒井先生の研修は、「やってみよう」と前向きな気持ちにさせてもらえるものでした。本講座での学びを紹介します。

探究で生徒を「お客さま」から「生産者に」

生徒の現状：従順だが口をあけて待っている

お客様

育てたい生徒像：意欲(学ぶこと・人生そのもの)にあふれ、自ら学び行動できる生徒

生産者

問いを立てる授業 ～問いを立てるのは難しい だから練習も必要～

- ①教科を学ぶ意味について、教科担任から話を聞く
- ②先生の話に対して質問を作る
○○とはどういうことですか？ どんなときに教科の良さを感じますか？
これから数学が明らかにしたいことは何だと思いませんか？
- ③先生は質問に答えながら話をまとめる

探究的な学習



情報の収集後、整理・分析をせずにはまとめに行きがち。思考ツール等で整理段階を大切に！

テーマ設定、課題設定は大切だけど難しい

○課題設定も何度か練習

立命館宇治高校は3年間で探究を6サイクル

○仮のテーマなので決めるのが大事と強調(途中で変更可)

決めて情報収集することで次に進めるのも事実

○いろいろな経験がテーマに出会う確率を高める

「100%これ！」というものはない

○ふりかえり探究サイクルを次のステージへ

テーマ設定の良し悪しに生徒が気づくことを大切に！



R-café

探究的な学び研修講座+(プラス)

オンライン座談会を開催します！

【開催日時】令和6年10月11日(金)

15:30～16:30

【テーマ】教科と探究の繋がり

※詳細は後日お知らせします。

酒井先生も
参加していただきます！

